

説 教

イースター聖日礼拝 北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2022年4月17日（日）

主 題：「主はここにはおられません」

－復活の希望に生きる－

テキスト：マタイの福音書28章1－10節

はじめに

- ・ Happy Easter!
- ・ イエス・キリストはカルバリの丘に立てられた十字架上で、処刑されました。そして、お体は墓に葬られました。ローマ総督であり裁判官であったピラトは、ユダヤ人指導者（祭司長、パリサイ人）の要請に応じ、イエスの墓の前に警備の番兵をおきました。その上、イエスの体が盗まれないよう墓に封印させました。
- ・ 土曜日が暮れる夕方、ユダヤ人の安息日は終わります。その夕方から週の第一日、すなわち日曜日が始まります。マグダラのマリヤともう一人のマリヤは、その日曜の朝イエスの墓へきました。聖書は次のように記録しています。
「安息日が終わったので、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとは、イエスに油を塗りに行こうと思い、香料を買った。」マルコ16：1、
- ・ 彼らはイエスの体に、準備しておいた香料を塗るために墓に向かいました。彼女たちが墓に行ってみると、地震が起こり、墓の入り口をふさいでいた大きな石が、わきへころがされました。墓番をしていたローマ兵たちは、み使いの姿を見て、震え上がりました。彼女たちも恐ろしかったに違いありません。み使いは、次のように語りました。
16:5 それで、墓の中にはいったところ、真白な長い衣をまとった青年が右側にすわっているのが見えた。彼女たちは驚いた。
16:6 青年は言った。「驚いてはいけません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められた所です。
16:7 ですから行って、お弟子たちとペテロに、『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます。』とそう言いなさい。」
- ・ 彼女たちは非常に驚きましたが、イエスが甦られたと聞き、弟子たちに知らせ

るため大喜びで走って行きました。ところがその途中、甦えられたイエスに出会い、「おはよう！」と声をかけられました。彼女たちは、イエスに懐かしさを感じると共に、確かに復活された栄光の姿に恐れを覚えました。

聖書はその時の様子を、次のように記録しています。

28:9 彼女たちは近寄って御足を抱いてイエスを拝んだ。

- **28:10** すると、イエスは言われた。「恐れてはいけません。行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのです。」
- ところでイエスの復活、それはキリスト信仰にとって大変重要なことです。ここに世界で最初に、復活のイエスに出会った二人のマリヤがいます。彼女らはイエスの十字架の下に立ち、主の埋葬に立ち会った人たちでした（従順）。彼女らは愛の報酬として、復活の喜びを最初に知らされました。
- では、主はイエスの復活を通して何を語っているのでしょうか？
私は、次の3点を考えます。

大切なポイント

1. イエス・キリストを信じなさい（信仰）

- イエスは、真に神であることを信じることです。イエスは公生涯で、ご自分が甦ることを何度も予告しました。そして、予告は事実となりました。聖書はこう語っています。
- 世の多くの人々は、イエスを世の4大聖人（釈迦、孔子、ソクラテス、イエス）の一人として上げます。しかし、釈迦、孔子、ソクラテスは死にました。彼らは聖人と呼ばれ偉大な人物であったでしょう。しかし復活はしませんでした。ただイエス・キリストだけが死人の中から復活し、救い主であることを公に宣言したのです。
- 神は私たちに、**このイエスを信じなさい！**と言っておられます。すなわち聖書は、神を**信頼しなさい**と勧めています。復活は、信仰の大切な要素です。イエスは死を打ち破ってくださったからこそ、信じるに価するものです。イエスこそ、死を打ち破られた勝利者です！しかし、私たち人間は弱いものです。疑い深いものです。
- イエスの弟子のひとりトマスは、イエスが甦られたと聞いても信じようとはしませんでした。彼は、手の釘後に自分の指を入れ確認しなければ信じない、と言いました。イエスは彼に次のように言われました。**ヨハネの福音書 20:27** それからトマスに言われた。「あなたの指をここに付けて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じ

ない者にならないで、信じる者になりなさい。」

20:28 トマスは答えてイエスに言った。「私の主。私の神。」

「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」

- ・皆さん。疑い深いのはトマスだけではありません。私たちも信じられない者の一人です。しかしイエスは、そんな私に目を向けてくださっています。
「信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」（20：27）

2 イエスの復活を宣べ伝えなさい。（宣教）

- ・復活されたイエスが与えてくださる「救い」には、神の保証があります。イエスは罪の刑罰である死を、復活によって勝利されました。最後の敵である死を、復活によって打ち破られました。イエスは十字架において救いの約束を成就されました。しかし復活によって、約束は確実であることを保証しました。復活の事実の前では、罪も死も力を失いました。「ですから急いで行って、お弟子たちにこのことを知らせなさい。」（マタイ28：7）「行って伝えなさい！」とは、イエス・キリストの復活の恵みを体験した人に与えられた最初の命令です。聖書は次のように語っています。
- ・「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです。」ローマ4:25
「キリストは死者の中からよみがえって、もはや死ぬことはなく、死はもはやキリストを支配しないことを、私たちは知っています。」ローマ6:9

3. イエスの復活は希望を与える（喜び）

- ・イエスの復活は、私たちに希望を与えてくれます。1コリント15章
15:20 しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。
15:21 というのは、死がひとりの人を通して来たように、死者の復活もひとりの人を通して来たからです。
15:22 すなわち、アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストによってすべての人が生かされるからです。
- ・イエスをキリスト（救い主）と信じる者たちにとって、死は終着点ではありません。やがてイエスが再臨される時によみがえらせ、イエスと共に永遠に生きる者とされるのです。1テサロニケへの手紙
4:14 私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それなら

ば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスといっしょに連れて来られるはずで

4:15 私たちは主のみことばのとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません。

4:16 主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、

4:17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。

- 一般的に言って、人は死を恐れます。しかし、キリストの復活を信じる者は死を恐れる必要はありません。なぜなら、イエスは死に勝利をおさめられたからです。キリスト者にとって、死は復活の栄光に到達するための、通り道にすぎません。復活こそ私たちの真の希望です。

「神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちに新しく生まれさせて、生ける望みを持つようにしてくださいました。」 1ペテロ1:3

{例話} 「19年の眠りから覚めた男」

- ポーランドであった実話。1988年、ジャン・グルゼブスキー (Jyan Gruzebkie) という鉄道員が、車両連結のさいの事故で昏睡状態に陥りました。医師は妻ゲルトルーダ (Gertruda) に、最悪の事態に備えるよう告げました。しかし、彼女は希望を失うことなく夫の看病を続けました。彼女は毎時間、ベッドに寝ている夫の身体的位置を変える努力をし、彼女の家族も交代で見舞いました。
- 事故発生から、19年の長い年月が経過しました。突然、ジャンは目覚めたのでした。19年の眠りから目覚めて、彼はいったい何を見たのでしょうか？彼が最初に認識したのは、愛する妻ゲルトルーダでした。リハビリの専門家は、「もし奥さんの献身的な看護がなかったら、病人がこれほど良い状態を維持することは不可能であったであろう」、と言いました。今では、彼は手足を動かせるまでになりました。感覚も次第にもどりつつあり、軽いものなら持てるようになりました。もうすぐ歩けるようになるでしょう。と言われます。それは奇跡的回復です！
- ジャンは自分が目覚めた世界が、19年前とは「別世界」であることに驚き

ました。振り返れば、彼が昏睡様態となったのは、ヨーロッパの共産主義が崩壊する1年前でした。妻のゲルトルーダは、長い眠りから目覚めた夫は、「町の通りが色彩豊かになり、販売されている商品も豊富になっていることに驚いている。世界はとても美しくなった!」と言いました。振り返れば、神は19年後にも彼とともにおられたのです。

- ・神は19年前にもおられ、現在もおられ、そしてこれからもおられるお方です。時間を支配し、時間を自分の管理下に置かれるのが神です。つまりジャンはその神ともにいたのです。
- ・愛する皆さん。イエス・キリストの復活は希望を与えてくれます。

ヘブル13章8節

イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。（新共同訳）

私たちは死を打ち破られたイエス・キリストを信じ、神の御国に向かって歩もうではありませんか。

ま と め

主 題：「主はここにはおられません」

－復活の希望に生きる－

- ・イエス・キリストの復活は、次の3点を教えます
1. イエスは神であることを信じること（信仰）
 2. イエスの復活は救いの成就である（宣教）
 3. イエスの復活は真の希望を与える（希望）

*イースターの朝、私たちは死の壁を破り、復活されたイエス・キリストを信じる者です。死を恐れる必要のない希望が与えられました。ですから、復活の希望のメッセージを語り伝えるのです。

*God bless you!